

MiNT

ミント

2014年7月1日発行

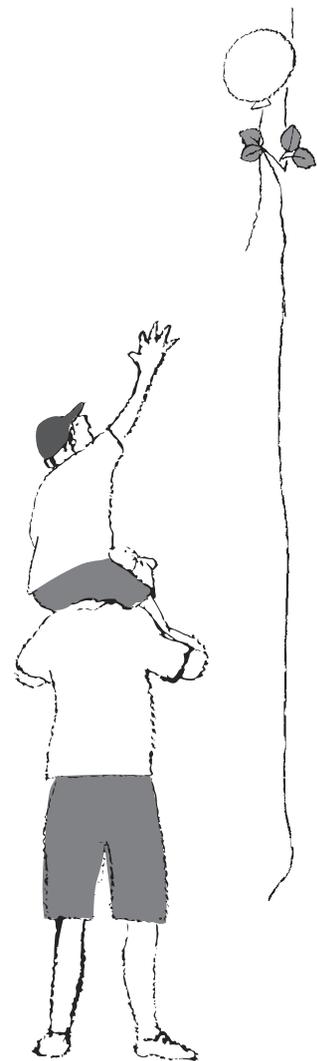
Vol.2

みんなで決めよう「原発」国民投票 会報誌



埼玉県で 「原発」県民投票運動が 始まっています。

埼玉県で原発県民投票を求める運動が始まっており、当会の埼玉県の仲間もその一角を担っています。大阪市、東京都、静岡県、新潟県。311後に原発住民投票を求めた直接請求がいずれも議会の壁に阻まれてきたことを考えると、率直に言って、埼玉でも実現までの道のりは険しいでしょう。しかし彼らは、そのことを重々理解した上で、勇気ある一歩を踏み出しました。当会としては、全力でサポートし、共に運動を進めていく所存です。情報拡散をはじめとして、遠隔でもできることがあります。みなさまも是非、ご協力をお願い致します。





ミント 第二号 目次

名古屋栄で定期署名活動	3
アースデイ東京	4
栃木の賛同人さんが・・・	5
レポート：各地からの活動報告	6
原発埼玉県民投票準備会が動き出す！	7
シンポジウム開催のご案内	8
ツイッターで「原発」国民投票のこと、 つぶやいています。	9
国会議員にはがきを送ろう！	10
インフォメーション	11
イベント情報・編集後記	12

この会報は、みんなで決めよう「原発」国民投票に“会員登録”し、年会費を納めてくださった方にお送りしています。



名古屋栄で、毎週土曜日、署名活動を続けています。

東海地域では、二年以上前から毎週土曜の夕方、名古屋の栄、市バス噴水南乗り場前の歩道で「みんな決めよう」のノボリを立てて署名活動を続けています。名古屋三越と中日ビルの間を貫く100メートル幅の道路を横断する歩行者に、「署名をおねがいできませんか？」と声を掛け、六つ折りフレットを手渡します。参加者は2〜6人。4

時から1時間に絞り、天候の悪い日や人数が集まらない日は中止と「無理せず続ける」ことにしています（冬場は三時から、真夏はお休み）。最近集まる署名は数筆から十数筆と決して多くはありませんが、これまでに記録のある分だけで848筆が集まっています（最低の日は2筆、最高は58筆でした）。

リーフレットも簡単には取ってもらえないのが実際ですが、受け取ってくれる人は自分から手を出してくれることが多いと感じます。多くの方は100メートル幅の道路を横切るために急ぎ足で通り過ぎて行ってしまうのですが、ノボリを立てて、声を掛け、リーフレットを配っているとすべての人に必ず何かしらの反応があります。署名を取ることよりも、毎週定刻に名古屋の繁華街に出て「原発」国民投票をPRし続けることが大事なのかもしれません。

向こうから寄ってきて署名する人、通り過ぎてからしばらくして戻ってきて署名してくれる人、署名した後「是非頑張ってください」と声をかけてくれる人もいます。「署名をしていただけませんか？」と率直に声を掛ければ必ずリアクションがあります。大学生、サラリーマン、かなり年配の方と年齢層は様々。仕事や買い物、観光などで県外から来られた方もいます。高校生や中学生も話をすれば真面目に考えてくれます。

原発に詳しい年輩の方から「もつと原発なくてもやっていけるという詳しい数値をアッピールせな！」と逆に言われることもあります。「私は原発賛成です」とおっしゃる方に「いや、これは国民投票で決めようと言うことです。原賛成でも署名できます」とお願いしたり、あるいは「反対（署名）じゃなきゃダメじゃないか」とおっしゃる方に「国民自身が決める仕組みを持つことが必要なので、ぜひパンフレットを読んでください」とお話ししたり。署名をもらう時に伺う意見、その後のやり取りなどでは考えさせられることが沢山あります。

署名集めのあとは中日ビルの喫茶店や地下街の居酒屋さんでミーティング。四方山話が多いのですが、そこで企画のアイデアが出たりします。一〜二か月に一回くらい、地域の催しに出かけて別に署名集めをしたりしています。こうした活動は二年前に立ち上げた岐阜・愛知の賛同人のメーリングリスト、ブログ、フェイスブックで共有しています。

愛知賛同人・事務局スタッフ 渡邊

これまでの署名数（栄署名記録のみ）

2012年	2013年	11/2	7
計444筆	計300筆	11/16	6
(月日) (筆)	1/12	11/23	11
5/26	2/9	11/30	11
6/9	2/16	12/7	11
7/7	2/23	12/14	12
7/14	3/9	12/21	10
7/21	3/16	2014年	
8/4	3/23	5/24まで	
8/25	4/20	計104筆	
9/1	5/4	1/18	4
9/8	6/1	1/25	11
9/15	6/8	2/1	12
9/22	6/29	2/22	3
9/29	7/6	3/1	8
10/6	7/13	3/8	8
10/20	8月休み	3/22	12
11/3	9/14	3/29	2
11/24	9/21	4/5	15
12/1	10/5	4/26	11
12/19	10/19	5/24	18
12/29	10/26		



「原発はベースロード電源？」

新エネルギー基本計画のシール投票を行いました！

●4月19日、20日の2日間、恒例の「アースデイ東京」が代々木公園で行われ、当会もブース出展しました。

近隣の東京・神奈川・埼玉・千葉の賛同人有志がボランティアスタッフとして集まり、「アースデイ東京」で会のPRをしました。(二日間全部の方も、できる範囲での数時間の方も、いらっしやいます)ブースではおもに、「シール投票」と「署名活動」を行いました。

シール投票の設問は閣議決定されたばかりの「新エネルギー基本計画」に賛成か、反対か、わからないか、の三択にしました。

なぜ、この「新エネルギー基本計画」をテーマにしたのか、その理由をお話いたします。

昨年、政府はパブコメを募集しました。約二万件の意見が集まり、その九割が「脱原発」でした。しかし、経産省は、そうした意見をほとんど反映しないまま、基本計画で原発を「重要なベースロード電源」と位置づけました。

現状の日本の政治では、「パブコメは実施はするが、参考にされるかどうか保障はない」し、「反映させなくても、罪に問われない」のです。で、うやむやにお茶を濁されているガス抜き状態ではないかと思えます。「きちんと民意を明らかにするには、『原発』国民投票しかないのでは」と、今回の閣議決定を見て改めて思い、それについて多くの方に考えていただきたいと思い、この設問にした次第です。

シール投票を行うと、多くの方と交流するきっかけになりますし、さまざまな意見を伺えて、参加して楽しいです。どんな雰囲気だったか、スタッフで参加した方々の生の感想を、い

くつかお伝えします。

○フクイチの作業員の人が話しかけてきてくれました。「若い作業員が健康被害が心配でどんどん辞めている」と言っていました。

○「国民投票やつて負けたら推進派を勢いづかせろ」という意見もありました。「国民投票しなくても推進の方向ですよ」と議論になりましたが、「(会の動きを)注目していますから」と言われ、笑顔で議論を終えました。

○「原発がなくなったらエネルギーはどうするんだらう？」と素朴な疑問を持っている人やエネルギー基本計画の中身を知らない人も結構いました。

○諮問型国民投票の流れについて、男性二名、女性一名の方に質問されて、パネルを見てもらいながら説明しました。具体的な流れに関心を持つ人が以前より増えた気がします。

○最終日の片付けをし始めた時に来た若いカップルが強く印象に残っています。こちらが誘わなくてもブースに寄ってくれました。真剣な表情でした。「シール投票しますか？」と言うと、頷いて、二人とも「反対」に貼っていました。

男性の方が福島県出身なのだそうです。「原発は気持ちとしてはとても反対だけど、経済への影響がいろいろ言われていて、そのことを大学で学びたい」と話していたかれました。自分のこととして真剣に関わっている人が、推進でも反対でも立ち寄ってみたいくなる場として、「原発」国民投票は機能出来るんじゃないかなと、思いました。

栃木県の賛同人さんが、 一人で活動されています。

副運営委員長 鈴木

彼が掲げた「原発」国民投票のリーフレットは、白黒でした。私はそれを見て、「あっ、彼は、自分でリーフレットを印刷して、署名を集めてくれているのだ」と思い、息を飲みました。会が印刷したリーフレットは全てカラーだからです。胸にこみ上げてくるものがありました。デモ終

今年、三月に埼玉県熊谷市で行われた小さな脱原発デモでのこと。栃木県から単身で参加された男性がいました。その人は、デモ前のリレートークのマイクを飛び入りで握ると、一〇〇〇万人署名と「原発」国民投票署名を、自分の思いと共に訴えてくださいました。「もし、まだ署名していない方がいたら」と。

その後、カラーのリーフレットと幟を事務局からご自宅へお送りさせて頂きました。時々、近況をメールでお知らせくださいます。
「栃木市大平山にて『NONUKES FES in ち

了後、声をかけて聞いたところ、事故から三年、デモや集会に参加し続けてきたとのこと。「最近、皆、参加者は署名済みなのだろうか？」と思うようになり、改めて署名を訴えて歩くようにしていること。「『原発』国民投票は一番、有効な方法のはずだと信じている。会のホームページを見ているけれど中心になっっている人たちは大変だろうなあ、自分にできることは署名集め。こつこつ続けます」と話してくださいました。

今、全国で、もつとも活発に「原発」国民投票のリーフレットを配っている方の中の一人かもしれません。いえ、この方だけではないかもしれない。事務局は把握してはなくても、この国のどこかで、今日もリーフレットをカバンに入れて持ち歩いている方がいる。もしかしたら、この会報を受け取るあなたのそばにも。

ぎ」に参加の際にリーフレット配布、東京日谷図書館にて柏崎刈羽原発再稼働反対集会に参加の際に置きチラシ、茨城県東海村原発近くの海岸にて『バルーンプロジェクト』に参加の際に参加者全員にリーフレット配布、八王子デモ行進に参加の際にリーフレット配布・・・」

投票結果	1日目：賛成 44 反対 427 分からない 60
	2日目：賛成 57 反対 666 分からない 79
	総合：賛成 101 反対 1093 分からない 139

(署名：1日目 271 / 2日目 220 / 合計 491 筆)

○「廃棄物の処理方法が決まっていけないのに可動する」というこの基本計画には反対、というのが原発推進派の立場の私の意見です。」とキツパリ述べられ、「反対」にシールを貼った男性。
○「企業に勤めている立場としては、『原発は必要なのかな?』と思う反面、『将来自分も子供を産む事を考えると原発は無くさなければ』と思、自分の中で矛盾した考えがあり答えが出せない」と、「わからない」にシールを貼った女性。
○「大変な事故が起きてしまったが、経済社会を考えれば原発は必要と思う。ただ厳しい基準を作る必要は有ると思う。事故後は『原発が必要』という自分の意見を言えなくなりました。」と、賛成「すごく貼りづらいけど」と言いながら

神奈川運営委員 宮本

にシールを貼った女性。「今日は話せて良かった」とも言っていたことが強く印象に残っています。
シール投票で質問を投げかけることによって、ひとりひとりが、考えを深めていくきっかけになると思っています。今後も、続けていきたいアクションです。
※ちなみに、今回、アースデイでシール投票を行うことを、あらかじめプレスリリースのFAQを送らせていただき、東京新聞さんに取材・掲載していただきました。

コラム

<アースデイの由来>

1970年アメリカのG・ネルソン上院議員が、4月22日を「地球の日」と宣言、アースデイが誕生しました。学生運動・市民運動がさかんこの時代に、アースデイを通して環境のかかえる問題に対して人々に関心をもってもらおうと、それは当時全米学生自治会長をしていたデニス・ヘイズ氏による、全米への呼びかけへとつながりました。そうして、1970年の最初のアースデイは、延べ2000万人以上の人びとが何らかの形で、地球への関心を表現するアメリカ史上最大のユニークで多彩なイベントとなりました。(アースデイ東京のHPから抜粋)

Report

各地域からの活動状況をレポート。



北海道

◆北海道では道議に「拘束型への賛否」をきくアンケートを実施中です。高橋亨道議は、88年に90万筆の請求が2議席差で否決された事、高橋知事が意見をきく範囲と手法を国が決める様丸投げしている事、拘束型は地方自治法で首長解任と議会の解散に限られており、片山総務大臣の時に改正して拘束型住民投票を担保しようとしたが地方6団体の反対で実現しなかった事等を述べ、「早く改正され拘束型住民投票があらゆる政策について行える事を望みます」と締め括りました。他に「原発反対だから道民投票賛成」「意見なく反対のみ」「道民投票の議論が沸き起こっていない。道民投票ありきの会なのか？」というご回答あり。これを希望ととるか絶望ととるか？今後もこのアンケートを続けて道議選に影響する会へと成長したい。

福宮 島城

◆3月16日 錦町公園「NONUKES みやぎ」にてブース出展。◆5月22日 西公園「安倍政権に私も言いたい！」にてエネルギー基本計画についてのシール投票を実施。◆反対81、賛成1、わからない1、という結果となりました。◆他 県内の催し等でパンフレットを配布しました。

千葉

◆千葉県では、5月から「市民の、市民による、市民のためのエネルギー講座」と題し、9月までの約半年間、月2回(合計10回)の連続講座を開催中です。これは、「原発」国民投票が実現した場合のワークショップをイメージした取組みで、市民ひとり一人が、エネルギーに関する知識を得て、自らの意思でエネルギーの選択を行うことを目指しています。詳しくは、HPをご覧ください。http://echoice.jimdo.com/

埼玉

◆5月29日に、「原発埼玉県民投票準備会」を立ち上げました。国民投票の運動を積極的に行ってきたメンバーが、県民投票の準備にかかりきりになっているため、埼玉県賛同人会としての活動は、ほとんど行われていない状況です。県民投票運動の広がりとともに、主権者や民主主義について考える人が増えることを期待しています。

神奈川

◆巻町原発住民投票のドキュメンタリーを見るキャラバン企画が藤沢からスタート！。◆6月1日鎌倉「鎌人いちば」にてブース出展。シール投票の質問は「あなたは、原発の賛否について、『原発』国民投票で問うことに、賛成？反対？わからない？」[賛成 223 / 反対 7 / わからない 16]という結果になりました。

東京

◆5月11日に、江戸川橋の事務所で説明会を行い、参加者は8名でした。初参加の4名のうち3名は、アースデイ東京でチラシを受け取った方でした。また3名の方が賛同人になってくださいました。運営委員長が制作した資料をスクリーンで見ながら、「原発」国民投票の学習をしたとともに、とても良い交流ができました。

静岡

◆5月3日、浜岡原発に近い牧之原市の静波海岸でのイベントに参加させていただき、新エネルギー基本計画と集団的自衛権のシール投票を行いました。結果は、「新エネルギー基本計画」=納得できる4(6%)、納得できない57.5(80%)、わからない10.5(15%) / 「集団的自衛権行使」=賛成4.5(7%)、反対53.5(78%)、わからない11(16%) / 実施時間は、8時~13時。天候に恵まれた海辺で、初めて会った人とも原発のことなどについて意見を交わすことができ、とても有意義なGWの一日でした。

東海

◆4月15日 名古屋市内の2大学入学式日に六つ折リーフレット配布。◆4月12日 勉強会『原発の倫理学』(古賀茂明著)を読む。◆4月15日 JR岐阜駅中央北口署名活動。◆5月27日 JR岐阜駅中央北口署名活動。◆6月1日 「日本をとりもどすマツリゴト day」にマルシェ参加。

関西

◆4月6日 「北千里駅前チャリティーフェスタ」にてブース出展とステージアピール。◆4月15日 「大阪造幣局桜の通り抜け」にて街頭アピール。◆5月11日：奈良・王寺にて映画『シェーナウの想い』と『「原発」都民投票~これまでとこれから~』の上映会を開催。駅前街頭アピール。※奈良賛同人会立ち上げの呼びかけメールを県内賛同人の方にお送りしています。地域でつながり、一緒に活動しませんか。ぜひご連絡ください(nara.genpatsukokumintohyo@gmail.com)。◆5月25日：「生物多様性フェス・コッププー」(大阪)にてブース出展。◆6月12日、「緑の党ひょうご・オープン学習会」(神戸市)にて「原発国民投票のこれまでとこれから」を講演(講師：森恭子)。

広島

◆原爆ドーム前で、平日にほぼ毎日署名活動を行っている運営委員の衣山さんから、東京の事務所に1,000筆の署名が届きました。先日、神奈川県で開催されたある原発関連の催しで、「原爆ドーム前で署名をしました」という方と神奈川の賛同人が出会った、という出来事があり、衣山さんの活動が全国につながっていると感じました。